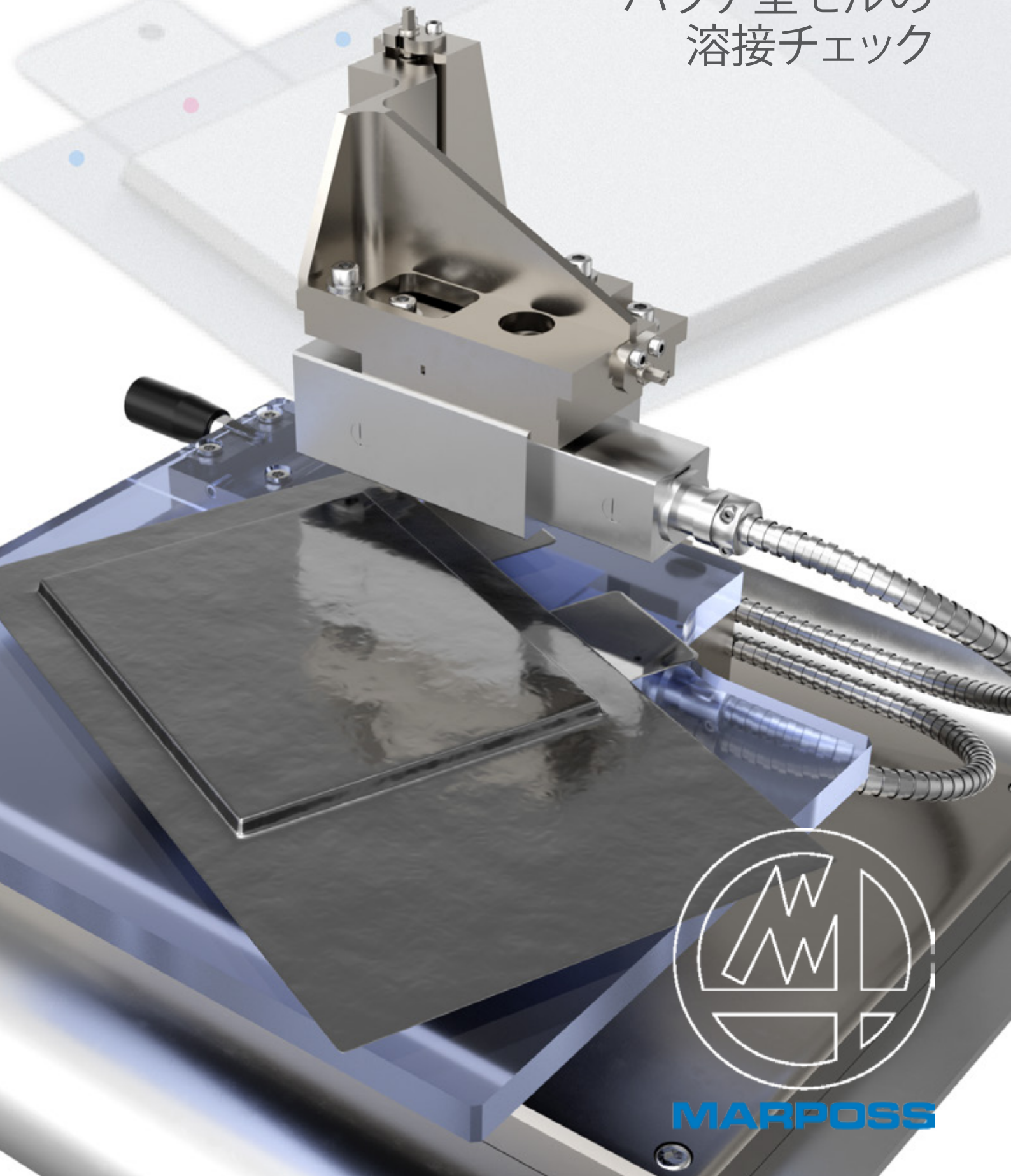


バッテリーセル アセンブリー

パウチ型セルの
溶接チェック



MARPOSS

概要

通常、パウチ型バッテリーセルの密封工程では、インパルス溶接または接触溶接（加熱シーラー）により、セルのハウジングの製造に用いられた多層フィルムの外層であるプラスチック層を融着します。

この溶接接合部の厚さ公差が満たされているかどうかは、密封品質を表す重要な指標であり、セルの完全な気密性を保証するための基本特性となります。

厚さチェックは、生産ラインにおいて、溶接直後にプラスチック材料が硬化する前に厳密に行わなければなりません。つまり、この測定には非接触技術を使用する必要があります。

製品について

パウチ型バッテリーセルの溶接継ぎ目の厚さのインライン測定には、干渉センサーが最適です。

実験室条件であれば、この測定にさまざまな非接触技術を使用できますが、実際のインラインアプリケーションでは、溶接部の外面に柔らかい透明なプラスチック層が存在すること、またラインでのパウチセルの位置決めが粗いことから、状況は間違いなく複雑になります。

マーポスの干渉技術なら、薄いプラスチック外層であっても、この測定において最大限の精度とセンサーの広い測定範囲を保証できます。同時に、溶接継ぎ目部にタブが存在することによる厚さの変化にも対応できます。

2つの干渉センサーで構成されるスナップを使用すれば、溶接継ぎ目の総厚と2つのプラスチック外層の厚さを同時に測定できます。

複数の位置での厚さ測定、またはパウチ型セルの全周にわたる溶接継ぎ目の完全なスキャンのための特殊なゲージアプリケーションもご提案できます。

特徴

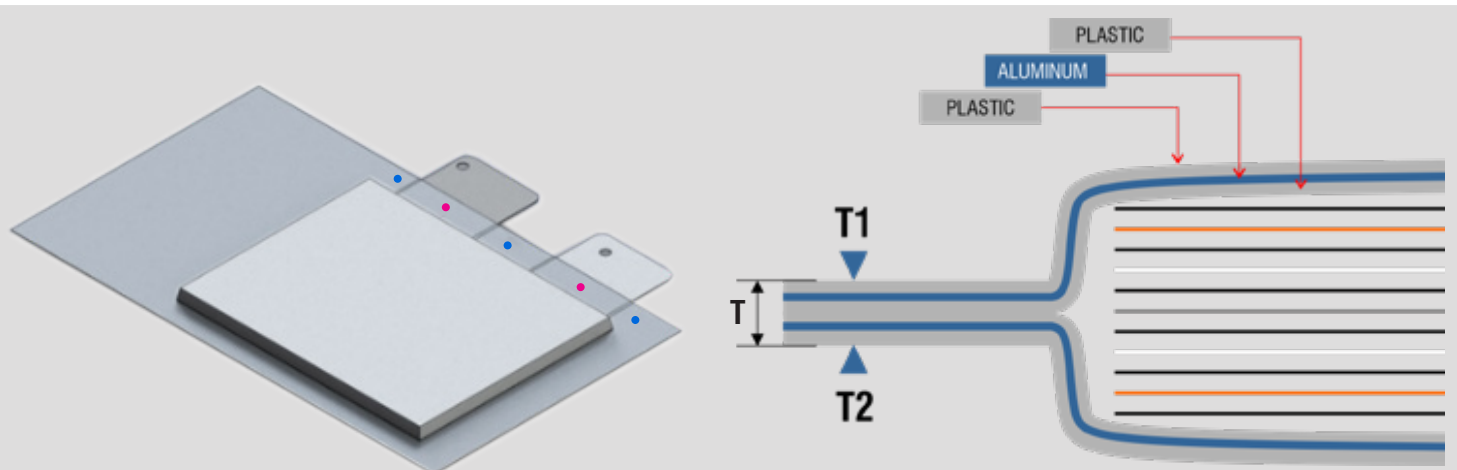
- 柔らかい材料を測定可能な非接触技術
- 10 μm 以上のプラスチック層の厚さを測定可能
- 実際のインラインアプリケーションに対応できる広い測定範囲
- 高感度、高精度
- 測定スナップまたは完全なゲージ機器を提供可能
- Quick-SPCソフトウェアオプションにより統計処理やデータ転送が可能

バージョン

- 基本構成: 2個の干渉センサーとNCGコントローラーで構成される測定スナップ1個
- オプションのQSPCソフトウェア搭載E9066工業用PCにより測定演算、統計解析、およびデータ転送が可能
- 複数の位置で測定するためのカスタムゲージソリューションもご利用可能

技術仕様

- 測定範囲 900/1,800 μm (各センサー)
- 10/25 μm 以上のプラスチック層を測定可能
- 実際のアプリケーションにおける総厚の繰り返し精度範囲: 1 μm 以下



各国の住所一覧は、マーポスの公式Webサイトを参照してください。

Edition 06/2020 お断りなく仕様の変更を行うことがあります。© Copyright 2020 すべての著作権はMARPOSS S.p.A. (Italy)にあります。

MARPOSS、ロゴおよびマーポス製品の名称/記号などは米国および各国におけるマーポスの登録商標あるいは商標です。また、本カタログ内に第三者の商標ならびに登録商標が記載されている場合、その権利は各社のものです。

Marposs の品質、環境、安全の統合マネジメントシステムは、ISO 9001、ISO 14001 and OHSAS 18001 の認証を取得しています。また、EAQF 94 資格と Q1-Award 賞も授与されています。